

武蔵みどり幼稚園は、お預かりしたお子様達が

安全で安心して生活できる保育や環境づくり

に常に努力しています。以下そのいくつかをここにご紹介します

- I. 先ずは何をおいても安心してお子様たちを託して頂けるように、**安全確保に力を入れる**とともに、私どもにとっては**保育こそが命**ですから、次代を担うお子様達の心身の健全な成長・発達を目指して、充実した環境の下で一人ひとりを大切にしつつ行き届いた保育の実践に努めています。この事は、同封の別紙『**子どもは遊びによって育つ**』もご覧下さい。

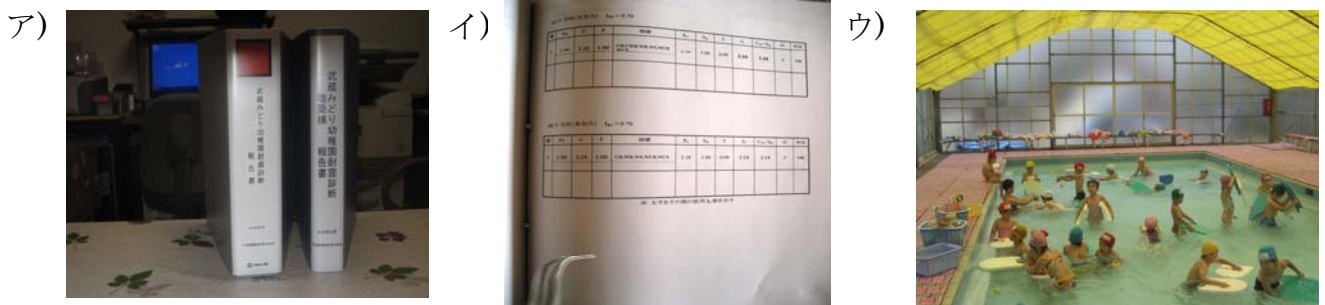
II. 施設・設備関係

1. 耐震対策等について(耐震診断検査完了)

- ① 国は阪神淡路大震災や諸外国の大地震での想像を絶する大被害などから(H23.3.1の東日本大震災後はより一層ですが…)、旧建築基準法で建てられた昭和56年以前の建物については耐震検査を受け、強度不足の場合は補強または建て替えを行うよう通知してきました。

これを受け武蔵みどり幼稚園では、平成18年に業者の選定に入り翌19年の1~2学期にかけて、大手検査機関による検査を受けました。結果は非常に良好な状態で何ら補強または建て替え等を行う必要はないとの結論を得ています。

この結果についての詳細なデータや報告書(下の写真ア~ウを参照)は、都と国へ提出済みです。



- ② 昭和64年に網入りガラスを活用して作られた屋内の温室プールは、あの東日本大震災時でも全く異常はありませんでした。しかし、それでも今後の大地震時に天井部の網入りガラスの破片や粉末の落下を心配される方も居られますので、これらを防ぐために、細かい網目(1mm目)の厚手の布状の丈夫なネットを天井部全面に取り付け、万が一の場合の安全確保に努めています。(右上の写真ウ参照)

- ③ 幼稚園の園庭が福島原発の放射能によって汚染されているのではないかと心配されている方も居られます。

幼稚園では市の協力を得て、定期的に(現在は2週間に1回ずつ)園庭と砂場更に楓林や駐車場・私道等からの雨水の集まる排水溝の放射線量の測定を行っています。毎回全く心配ないとの結果を得ています。

- ④ お子様達が在園時に、大地震に見舞われ帰宅困難となった時に備えて、幼稚園では全園児が3日間幼稚園に滞在できるだけの食料と水、毛布、救急医薬品、食器やなべ釜、簡易トイレ等を第二園庭の次ページの写真のような備蓄倉庫に保管しています。

また、幼児は真っ暗な所は苦手ですから、照明やパソコンに供給できる発電機等も備えています。

ア) 備蓄倉庫



イ) 備蓄倉庫内の食料や水、その他



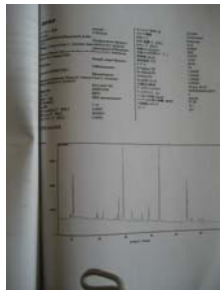
2. アスベスト除去完了

ア) 平成 17 年度に都からアスベストに関する実態調査の通知を受け、園内のすべての箇所につき調査を行った結果、現ホール(第一遊戯室)の天井裏の 2 本の鉄骨に吹き付けられているのを見つけました。国の基準では、このように天井板や防音材等で覆われている中に閉じ込められている物については、除去対象外となっていました。万が一地震等剥離・落下しては…と考え、平成 18 年の夏休みを利用して、その全てを除去しました。(検査結果や工事の状況等の詳細な報告書は、すべて都と国に提出済みです。)

イ) その後平成 20 年の 2 月に、アスベスト対象物が 3 種から 6 種に拡大されたのを受け、コンクリートの貼り付け断熱材も含めて、再度各箇所につき詳細に調べ、その検体を検査機関に送り検査を受けた結果、全く含まれていないことが判明しています。

【下の a)~d)の写真参照】

- a) 検体(その一部) b)検査データ(同) c)検査結果報告書(同) d) 検体増加時の結果報告書(同)



区分	項目	検査結果	検査結果	検査結果	検査結果
アスベスト	アクリル系	検出	検出	検出	検出
	エポキシ系	検出	検出	検出	検出
	ウレタン系	検出	検出	検出	検出
	その他	検出	検出	検出	検出
その他	アクリル系	検出	検出	検出	検出
	エポキシ系	検出	検出	検出	検出
	ウレタン系	検出	検出	検出	検出
	その他	検出	検出	検出	検出

3. 水道管の付け替え工事完了

年長・年少の保育棟は昭和 51 年に、年中は 53 年に竣工した建物であるため、当時の建築基準法では、水道管はすべて鉄管でした。ただ鉄は経年により腐食が進行する為、平成 20 年の夏休みを利用して、屋上の防水工事や外壁の塗装工事等と並行して、すべての箇所の水道管を外付けながらステンレス管への付け替え工事を行いました。従って、市の水道管に直結の当園の水道水は安心して飲める状態となっています。

III. 遊具の安全確保とメンテナンスについて

お子様たちが毎日使用している遊具は、清潔で安全な状態で遊びが出来るように、点検とメンテナンスに常に心を配っています。

ア) お子様たちが退園した後、ほとんどの遊具にカバーを掛け、翌朝お子様達が登園して来る前までに先生達はこれを取り除き、お子様達が直接触れる部分については、雑巾がけを行っています。(次ページ写真参照)

こうすることによって、ねじが緩んだり・亀裂箇所やささくれだったり、破損して危険な箇所はないかの点検を、毎日行っています。



イ) メンテナンスにも力を入れています。

遊具の安全確保のため、第2園庭の総合遊具の鉄製円筒の下部は、平成19年に基礎部分も含めて鋼板による補強工事を、また、第1園庭の総合遊具ワンダーランドとスーパートレインは、20年春休み中全面解体し、更に24年の休み日を利用して、ネジの締め付け部や木部のささくれ部、腐った部分等を取り除いたり手直しした上で組み立てなおし、全面塗装も行いました。

また、恐竜ももちゃんのFRPの欠損した部分の補修を22年に、24年には休日を利用してスーパートレインの痛みの見られる部分は、一部解体と補修工事とを行いました。

ウ) 近年オゾンホール等の拡大等により、以前に比べ紫外線等による被害が問題視されるようになって来ています。特に園児達が長時間一定の場所で遊び込む砂場では、直射日光に当たる時間も長くなりがちのため(a)→(b)のように砂場の上部を覆う開閉式の屋根を設置し被害防止に努めています。

(a)



(b)



IV. 生活環境の安全確保について

①, 駐車場完備。 幼稚園に沿った道路は私道につき、歩行者以外一般車両の通行は出来ません。従って、園所有地の楓林等への移動も比較的安心してできます。(ここへの移動には、先生が必ず付き添うことにしています)

ア) 駐車場



イ) 正門側道路



ウ) 東門側道路



※ 上の写真のように車止めによって一般の車両は入れません

②, 園児送迎バスの出入り口と歩行者の出入り口とは完全に区分されています

ア) 徒歩通園者通用口



イ) バス専用出入り口(ロータリー になっている)



- ③. 幼稚園への不審者の進入防止を目指して、**警視庁直通電話を設置すると共に、次ページ写真にあるような出入者をチェックする防犯カメラを設置**しています。また、通園児の安全を確保する為、開門時には**男性職員が出入者のチェック**を行っています。更に、お子様の在園時間中の出入りは**通用門からのみとし、来訪者の確認が出来ないと門は開かない仕組み**になっています(上記写真、ア参照)。

しかも、入出者の状況は**常時職員室と事務所の2箇所のモニター**で見ることができ、記録もされています。このように**お子様の安全確保には万全を期**しています。

- ア) 玄関や通用口の監視カメラ イ) 事務所のモニター画面 ウ) 職員室のモニター画面

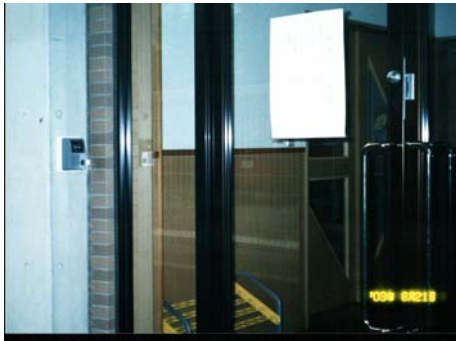


- ④. **延長保育のお子様の安全も確保**されています

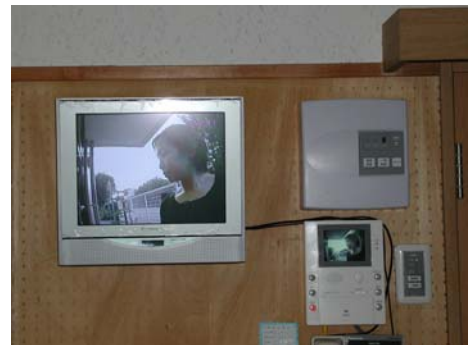
新園舎2階にある預かり保育専用のお部屋への出入りは、1階玄関のカメラ付ドアフォンによって、保護者または指定された方のお迎えであることが2階の大画面モニターによって確認されない限り、1階の玄関ドアのロックは解除されません。(オートロックシステムの採用)

なお、一般のお子様の登降園のお迎え時は、園発行の吊り下げ名札を下げた保護者の方が直接保育室にいらしていただき、**担任が間違いなく保護者であることを確認のうえお引き渡し**を行っています。

- ア) 玄関のカメラつきドアフォン



- イ) 2階に備え付けのモニターとロック解除装置



V. **ホールも含め全室冷暖房を完備**させるなど、快適な環境作りにも努めております。

私達の幼稚園では、子どもは寒さ暑さに関係なく外遊びをして、暑いときには暑いなりの汗を思いっきりかくことが、体温調節機能を維持・発達させる上で、とても大切なことだと考えています。

しかし、このところの夏季のヒートアイランド現象をはじめ、各家庭への冷房設備の普及や車や工場等からの排気ガスによる地球の温暖化。それによると言われている光化学スモッグ発生時等への対策として、室内活動に集中して取り組めるよう、さらに、昼食時の食欲ならびに・健康増進等々も考え、全保育室はもとよりホールにもエアコンを設置してあります。

子ども達の体温調節機能の維持・発達を阻害しないようにしつつ、これらを上手に活用しております。

- ア) 各保育室に設置されているエアコン



- イ) 大ホールに設置されているエアコン



※ もちろん園舎の全室にエアコンが設置されていることは、言うまでもありません。